

学 校 の 概 要

1 学校の所在地、校舎等

所在地	秋田市下新城野字街道端西241-90
連絡先	電話場号：018-873-2411（事務センター直通873-2496） FAX：018-873-2020（緊急電話） E-mail：akk-ec4@edu.city.akita.akita.jp
交通案内	○JR奥羽線あるいはJR男鹿線 追分駅より徒歩10分 ○秋田中央交通バス停「追分三叉路」から徒歩1分
面積等	【校地面積】 23,768㎡（うち、運動場面積9,713㎡） 【校舎面積】 4,753㎡ 【体育館面積】 1,661㎡（体育館1,215㎡、武道場446㎡） 【部室面積】 340㎡
校舎	【新設】 本校は、昭和37年4月1日に飯島中、下新城中、金足中を統合して開校したが、生徒は飯島校舎、下新城校舎、金足東校舎、金足西校舎に分かれたままの学校生活となった。 校舎の新築工事は、昭和37年6月20日に着工し、最後の体育館の建築工事（第4期工事）が竣工したのは昭和40年12月25日であった。新校舎の完成を祝い、昭和41年1月29日に竣工式が行われた。 【改築】 校舎等の老朽化にともない、校舎等の増改築を求める声が高まり、平成19年9月21日に改築工事を着工した。 ・校舎、体育館完成 平成21年3月18日 ・グラウンド、テニスコート完成 平成21年12月14日 ・プール、新部室棟完成 平成22年3月17日 ・校舎周辺環境整備完成 平成22年8月31日 ・新校舎竣工式 平成22年10月30日 【現校舎の特徴】 (1)眺望が良く、地域のシンボルの校舎 丘の上に立つ鉄筋コンクリート4階建て。地域のシンボリックな存在であり、教室からも地域を広く見渡すことが可能。 (2)光が差し込み、風が通り抜ける校舎 ガラスを多用しているほか、内靴のまま歩ける中庭を設置し、光と風が通り抜ける明るいオープンな生活環境。 (3)冬期間も快適な床暖房の教室 床暖房と天井からの温風で、冬期間も温かい快適な教室環境。 (4)防犯や生徒の安全・安心に配慮された管理エリア 職員室のある管理エリアは、防犯に配慮し、来校者だけでなく校地全体を見渡せる位置に配置。 (5)学年ごとの多様な教育活動に利用できるフリースペース 教室棟の各階には広いフリースペースがあり、学年別の集会のほか、多様な教育活動に利用可能。

2 校章・校訓・校歌等

校章	学校創立当時は、学校名が「秋田北中学校」と変わっただけで、生徒はそれまでと同じように飯島校舎、下新城校舎、金足西校舎、金足東校舎で生活していた。そのため、秋田北中の生徒という意識が低く、意識の高揚のため、校章の制定を急いだ。 各校舎の生徒から図案を5点ずつ募集し、審査の結果、飯島校舎3年若狭慶吉さんの図案が採用された。この図案を参考に、当時の追分郵便局長である奈良園一氏が作成し、昭和37年4月28日に現在の校章が制定された。（正式な考案者は奈良園一氏）
校訓 教職員の 合い言葉	「根確かなれば 花かならず開く」 秋田北中は昭和37年4月1日に開校したものの、全校舎が落成したのは、昭和40年度のことであった。その年度の卒業生たちが、卒業記念として本校に贈呈した石碑に刻まれているこの言葉が、大切に受け継がれ、校訓となっている。 石碑を建てることが決まったとき、全校生徒からそれにふさわしい言葉を募集し、その中から選び出された言葉である。石碑の文字は、当時教頭であった三浦礼治先生が揮毫したものであり、石碑の建立は、昭和41年3月11日のことであった。 「すべてを子どもの幸福のために」 初代の校長であった高井兼治先生の言葉であり、職員室には、当時教頭であった三浦礼治先生の揮毫による額縁が掲げられている。
校歌	【制定】 昭和39年1月15日 【作詞】 西條 八十 【作曲】 古関 裕而 作詞は奈良環之介を通して西條八十氏に依頼した。西條氏は昭和38年9月17日に来校して、本校の事情や取り巻く環境を見聞した上で作詞に取り掛かり、11月に完成、本校に送付された。本校ではその作詞について希望意見を付して返送した。西條氏は推敲の後、古関裕而氏に回送して作曲を依頼した。 【歌詞】 - 一 荒波たける日本海に くじけぬ気魄授けられ みどり明るき秋田野に かがやく希望つちかいて 伸びゆく我等 楽しき我等 ああ 北中の若人我等 - 二 嵐に怖じず 雪に負けず 力を^{あわ} 協せ 我等ゆく 高き真理の峰を攀じ 叡智の林究めつつ 伸びゆく我等 たのしき我等 ああ 北中の若人我等 - 三 砂丘を踏みて若き春に 交せし誓忘れまじ 秋田だましい たくましく 日本の未来 担わんと 伸びゆく我等 楽しき我等 ああ北中の若人我等

応 援 歌

【歌詞】

〔紺碧〕

紺碧こんぺきの空 仰あおぐ日輪にちりん
光輝こうきあまねき 伝統のもと
すぐりし精鋭せいえい 闘志しは燃えて
希望の王座を占むるもの われら
北中 北中 覇者はしや 覇者 北中

〔栄光〕

太平の峰みねを仰ぎ
北中健児けんじ あいつどい
朝夕あさ仰ぐ 学びやに
深く刻む 伝統に
栄えはある母校は光り輝く

太平の空は青し
北中健児 たくましく
勝利の歌を歌おうよ
希望の翼 のばしゆく
栄えある母校は光輝く

創立50周年

記 念 歌

北中讃歌

「北中讃歌」「希望の未来へ」

【制定】 平成24年10月

【作詞】 清水 功一

【作曲】 清水 功一

【歌詞】

一 我が北の大地よ 我らのふるさと
希望ふくらむ 我らの大地
若人の夢 青春の希望
すべてを育む 希望の大地
たたえよ北中 われらの北中

二 我が北の校舎よ 我らのふるさと
夢をかなえる 我らの校舎
幾人の希望 未来の光
すべてを育む 希望の校舎
たたえよ北中 われらの北中

希望の未来へ

【制定】 平成24年10月

【作詞】 50期卒業生一同・清水 功一

【作曲】 清水 功一 【編曲】 瀧口 宏

【歌詞】

一 いつもと変わらぬ 坂道を
想いを描いて 駆け上る
新緑の並木は ささやきながら
希望の息吹を 降り注ぐ
いつもと変わらぬ 坂道は
希望の校舎を 眺めてる
幾人の想いを ささえながら
新たな想いを 受け止める
希望と夢を胸に 大地を踏みしめて
新たな道を 大切な仲間と ともに
歩んでいこう

二 いつもと変わらぬ 坂道を
桜の花びらが 舞い降りる
新たな出会いを 見守りながら
歓喜の叫びが こだまする
いつもと変わらぬ 坂道は
出会いと別れを 懐かしむ
これから始まる 新たな道
歓喜の歌を 響かせる
希望と夢を胸に 大地を踏みしめて
新たな道を 大切な仲間と ともに
歩んでいこう

さあ 希望の未来へ 羽ばたこう
すばらしい 仲間と 大空高く

さあ 希望の未来へ 飛び立とう
すばらしい 仲間と ともに行こう